

びばい社協からのお知らせ

生活福祉資金【特例】 受付期間は8月末までです

新型コロナウイルス感染症の影響による休業等での減収・解雇による方を対象にした、特例貸付を行っています。

【緊急小口資金】

上記対象世帯で、**緊急かつ一時的な生計維持のための貸付**（20万円まで）

【総合支援資金】

上記対象世帯で、**生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている方**へ3か月間の貸付（償還開始までに自立相談支援機関の支援を受ける事が必要）

※本会への問合せは電話（平日8時45分～17時15分）またはメールでお願い致します。書類提出は原則郵送です。

※申請書は北海道社会福祉協議会HPよりダウンロードできます

※詳細は特設サイト <https://corona-support.mhlw.go.jp/> をご覧ください。

※本件は貸付です。給付である「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援給付金」とは異なりますのでご注意ください。

社協会費の納入にご協力をお願いします

社会福祉協議会では毎年、町内会に加入している世帯毎の一般会費と企業・事業・個人の特別会費の納入をお願いしております。6月上旬にご依頼の文書を送付しておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。年会費は次のとおりです。

一般会費 1戸 200円
特別会費 1口 1,000円（1口以上）

市民ふれあいまつりを中止します

例年夏の風物詩として開催しておりました「市民ふれあいまつり」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため今年度も残念ながら中止と致します。

毎年来場くださる住民の皆様をはじめ、ご協力をいただいております関係機関・団体様には、次年度の開催に向けご理解・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和3年度版の 寄付金付きバッチが出来ました （美唄市共同募金委員会 62-0770）

美唄市共同募金委員会では毎年寄付金付きバッチを作成しています。今年は「美唄ブラックダイヤモンド」とマミーちゃんをイメージしたデザインとなりました。バッチは1個500円の寄付で贈呈させていただきます。寄付金のうち製作費を除いた分が、美唄や北海道の地域福祉の推進のために使われます。この機会にぜひ募金にご協力をお願いいたします。



ご寄付を ありがとうございました

寄付金		
R3.1.29	安藤千ヨ 様	100,000円
R3.4.26	美唄言の葉 様	15,000円
R3.6.11	佐藤ひろみ 様	5,000円
R3.6.24	黒宮健治 様	100,000円
R3.7.5	林建設株式会社 様	100,000円

寄付物品		
R3.4.7	川西智子 様	飛沫防止パネル7枚
R3.6.18	美唄ライオンズクラブ 様	災害避難用中型テント

（令和3年1月1日～7月5日受付分）

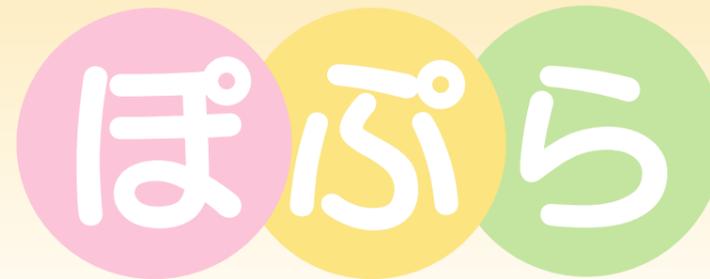
発行
編集

ぽぷら 第76号
令和3年7月31日

社会福祉法人
美唄市社会福祉協議会

〒072-0026
北海道美唄市西3条南3丁目6-2
美唄市総合福祉センターぽぷら内
電話 (0126) 62-0770 FAX (0126) 62-6996
ホームページ <http://www.bibai.com/shakyo/>
Eメール soumu.bibai-shakyo@pipalnet.jp

社会福祉法人
美唄市社会福祉協議会 広報誌



No.76



写真：菜の花畑と美浦大橋

理事・評議員が変わりました

6月2日に行われた評議員選任・解任委員会で評議員が、6月24日に行われた令和3年度第1回評議員会・第3回理事会で理事・監事が改選となりました。改選にともない、黒宮健治前会長に代わり越前谷賢一（事務局長兼務）が会長として選任されました。

就任挨拶

社会福祉法人 美唄市社会福祉協議会
会長 越前谷 賢一



このたび、黒宮健治前会長の後任として、若輩ながら会長に就任しました越前谷賢一です。社会全体が我慢の日々を過ごしているこの時期に会長の職に就くにあたり、その責務の重さを痛感しています。市民の皆様をはじめ、関係者の皆様から「社協は頼りになる組織だ」と思っただけのような努力する所存です。私が事務局長に就任したのは平成28年4月、5月には前会長が就任し、三期5年間、前会長を中心に本会の経営改善に努め、東奔西走する姿を見てまいりました。市民の皆様と職員の皆様のご支援ご協力をいただいたおかげで、今日の社協がございます。「市民に貢献できる社協職員、社協に貢献できる社協職員」という前会長の合言葉ですが、理念に近い形で法人内に浸透しています。これからもこの言葉を大切に、社協が皆様と力を合わせて持続できるよう努力してまいります。

現在、日本中で新型コロナウイルス感染症が広がり多くの犠牲者が出ています。お亡くなりになられた方々へ心より哀悼の意を捧げるとともに、新たな感染拡大防止に美唄市と協働しながら法人組織を挙げて取り組んでまいります。また、我々に求められている福祉ニーズに応えられるよう地域の声に耳を傾け、より一層地域にとってなくてはならない存在となれるよう、社協だからこそできることを常に念頭に置き、その使命を果たせるよう職員関係者と共に努力してまいりますので、どうか従前と変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

改選後の理事・評議員は以下のとおりです。

●理事（7名）・監事（2名）・評議員（9名） 《任期R3.7.1～R5.6.30》 ※敬称略

役職	氏名	選出	役職	氏名	選出
理事	白木 昭志	美唄市消防団	評議員	村上 忠雄	住民自治組織
	大道 良裕	美唄市シルバークラブ連合会		高島 史図	住民自治組織
	福田 安治	美唄環境センター		沼 了	住民自治組織
	牧野 修一	美唄ライオンズクラブ		中川 直紀	美唄地区保護司会
	斉藤 一昭	美唄市民生児童委員協議会連合会		佐々木 護	住民自治組織
	越前谷賢一	美唄市社会福祉協議会		谷内八重子	美唄市シルバークラブ連合会
	鈴木 寿幸	美唄市社会福祉協議会		村田千津子	びばいせわすき・せわやき隊
監事	安田 昌彰	やすだ社会福祉士事務所		古泉 博章	住民自治組織
	英 和行	美唄商工会議所		高橋 英雄	美唄市保健福祉部

令和2年度 事業報告・決算報告

●事業報告の概要

昨年度は美唄市新型コロナウイルス感染症対策本部の方針に応じ、総合福祉センターを臨時休館や利用制限するとともに、本会の諸行事を延期又は中止する等、市民の皆様の健康で安心安全な日常生活を守る対策を講じてきました。

コロナ禍ではありましたが、地域共生社会の構築に向け、市から受託している生活支援体制整備事業を活用し、地域の皆様の感染症への不安を受け止めながら、できる限りの輪を広げてきました。経営面では『びばい経営支援金』の支給を受けるとともに、介護保険等事業ではコロナ禍にもかかわらず継続的な事業改善を図り、下記の決算概要のとおり経営上大きな打撃を受けることなく年度を終了することができました。

●決算の概要

一般会計の収入合計は 204,417,471 円、支出合計は 202,197,242 円で、収支は+2,220,229 円となりました。区分ごとの金額は下の表をご参照ください。

(単位：円)

区分	法人運営事業	地域福祉推進事業	かがやきデイサービス事業	ふれあいデイサービス事業	さわやかヘルプ事業	居宅介護支援事業	特定相談支援事業	共同募金配分金事業	たすけあい金庫貸付事業
収入	18,388,148	2,363,600	42,746,487	36,843,173	22,212,845	22,834,708	14,603,740	1,695,480	1,071,015
支出	27,318,908	2,222,024	43,686,626	33,952,411	20,581,428	20,425,589	11,744,048	1,695,480	801,750
収支	△ 8,930,760	141,576	△ 940,139	2,890,762	1,631,417	2,409,119	2,859,692	0	269,265
区分	総合福祉センター設置運営事業	食事サービス事業	法律相談事業	高齢者福祉事業	社会参加促進事業	障がい者相談支援事業	市民後見人養成事業	日常生活自立支援事業	生活福祉資金貸付事業
収入	9,118,495	18,935,280	482,000	3,851,300	390,000	5,556,000	2,327,000	317,500	680,700
支出	9,118,495	17,318,688	482,000	3,875,003	390,000	5,556,000	1,477,839	870,253	680,700
収支	0	1,616,592	0	△ 23,703	0	0	849,161	△ 552,753	0

令和3年度 事業計画・予算

●事業計画の概要

今年度は第4期地域福祉実践計画「～共に生きる 安心・安全・福祉のまちづくり実践プラン～」の推進3年目となります。感染症等をめぐる状況も見通しが立ちませんが、感染防止対策と様々な工夫を講じ、住民主体となり創り上げる地域福祉活動を住み慣れた地域から立ち上げ、住民参加による自主的・主体的なまちづくりを支援していきます。

主な内容は以下のとおりです。

- ①災害ボランティアセンターの設置マニュアルに基づき、災害時に美唄市と協力しあい迅速に対応できる体制を構築します。
- ②美唄市から新たに中核機関（成年後見支援センター）運営事業を委託し、権利擁護体制の強化を図ります。
- ③総務課を軸に法人全体の財務管理に加え、生活困窮世帯への貸付、総合福祉センターの維持管理に努めます。
- ④持続可能な介護保険事業等の経営に挑み、介護職員初任者研修（新規）等の人材養成と多様な人材の活用、共生型地域密着通所介護事業への転換を図り、将来的な社協事業の姿を見据えながらあらゆる手立てを講じます。

●予算の概要

一般会計の収入合計は 217,238,000 円、支出合計は 214,596,000 円で、収支は+2,642,000 円となっています。区分ごとの金額は下の表をご参照ください。

(単位：円)

区分	法人運営事業	地域福祉推進事業	かがやきデイサービス事業	ふれあいデイサービス事業	さわやかヘルプ事業	居宅介護支援事業	特定相談支援事業	共同募金配分金事業	たすけあい金庫貸付事業
収入	19,067,000	2,239,000	45,169,000	37,000,000	25,263,000	24,750,000	13,846,000	1,990,000	670,000
支出	34,959,000	2,239,000	39,624,000	31,493,000	18,835,000	24,241,000	13,290,000	1,990,000	670,000
収支	△ 15,892,000	0	5,545,000	5,507,000	6,428,000	509,000	556,000	0	0
区分	総合福祉センター設置運営事業	食事サービス事業	法律相談事業	高齢者福祉事業	社会参加促進事業	障がい者相談支援事業	成年後見支援センター	日常生活自立支援事業	生活福祉資金貸付事業
収入	9,675,000	18,640,000	481,000	3,924,000	900,000	5,436,000	7,500,000	350,000	338,000
支出	9,675,000	18,640,000	481,000	4,245,000	900,000	5,436,000	7,480,000	60,000	338,000
収支	0	0	0	△ 321,000	0	0	20,000	290,000	0

事業報告・事業計画等の詳細は、社協事務局で閲覧することができます。

びばい社協の各事業所から

地域福祉係 (62-0770)

●集落支援員制度について

集落支援員制度とはその地域の実情に詳しく、集落対策の推進についてのノウハウ・知見を有した人材（集落支援員）が市から委託を受け、市職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施する制度です。

美唄市では以下の支援員が活動しています。

専任支援員 美唄市の任用職員（1名）
兼任支援員 民生児童委員（計15名）

7月1日より専任支援員として藤山美保子さん（市会計年度任用職員）が社協地域福祉係で勤務されることになりましたのでご紹介します。

藤山 美保子



※似顔絵はイメージです

- 担当業務
集落支援員（専任）
- 趣味・特技
読書・道の駅めぐり
- ひとこと
集落支援員として、皆様のお力になれるよう努めて参ります。宜しくお願いたします。

●災害に備え「美唄市災害ボランティアセンター」協定を結びました！

本会では令和2年度に「美唄ライオンズクラブ」と協定を結び、災害ボランティアセンター設置の際、人的・物的支援をいただく事となりました。6月18日には支援の一環として、この度災害避難用テントを贈呈していただきました。

本会では災害時にボランティア活動や運営にご協力いただける市民・団体・企業を募集し「協働型」の災害ボランティアセンターを目指しております。



← 美唄ライオンズクラブとの協定締結の様子 (令和3年3月26日)



美唄ライオンズクラブよりテント贈呈の様子 (令和3年6月18日)

かがやきデイサービスセンター (63-2339)

9時30分～16時30分までの通常利用のほか、9時30分～12時35分までの短期間利用も受け付けております。

入浴と簡単な体操や筋トレなどでリフレッシュしていただき、また、職員や利用者様どうしでのコミュニケーションの場としても最適です。長時間いることに不安や抵抗のある方にお勧めのプログラムとなっています。また、徹底した感染予防対策を講じ皆様に安心して過ごしていただけるよう万全を期しております。



ふれあいデイサービスセンター (63-3581)

びばい社協ふれあいデイサービスセンターは認知症専門の通所施設です。定員12名のこじんまりとしたデイサービスで、家庭的な雰囲気の中で過ごしていただいています。

認知症の方が、不安なく一日を楽しく笑って過ごしていただけるよう利用者様、ご家族様の気持ちに寄り添ったケアを心がけています。また、皆様の安心、安全を考え、今後も徹底した感染予防対策を講じてまいります。

●生活支援コーディネーター細谷より

「みんなのサロン」～“お互い様”のまちづくりに向けて～



現在6か所で開催していますが、「緊急事態宣言」の下では中止せざるを得なくなりました。しかし、“顔見知りになり、気軽に相談し助け合える関係づくり”を広げるために、状況を見ながら進めています。今一番大切なことは“皆さんが安心して集えること”です。

感染予防のため中止することもあります、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。また、皆さんが行っている活動をご紹介いただければと思います。さまざまつながりの中で“いつまでも安心して住み続けられるまち”に向けて進んでいきたいと思っております。



↑ 東4条サロンの様子



↑ ふれいサロンの様子